

青郷の子どもたちの健全な育成のために

高浜町立青郷小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	4回 (のべ) 4日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	26人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	12人
登下校支援ボランティア	9人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ 「ふるさと教育」

1 地域の人材から学ぶ

(1) 親子ふれあい体験活動

「保護者や地域の方々とともに子どもを育てること」をねらいに、毎年、地域の方を講師に招き、親子でものづくりや体験活動を行っている。竹細工や押し花、クリスマスリースづくりなど、青郷地区の素材を活かしたものづくりや、そば打ち、手づくり飛行機、ピザづくり、指編みなど、保護者やその家族、または、青郷地区在住の方を講師に迎えての体験活動を実施したことにより、地域の自然や文化を再認識したり、身近な人々とふれあったりすることができた。土曜日に実施したことから、ほとんどの保護者が親子で参加し、子ども・保護者・地域の方々が楽しくふれあい、ふるさとへの愛着心を育てる場となった。



(2) 総合的な学習の時間 3年「私たちの町『青郷』～地域の特産物を調べよう～

青郷地区の特産物である「若狭漬」、「杜仲茶」、「根菜」、「鯛鮓」などを取り上げ、調べ学習や聞き取り学習などに取り組んだ。「根菜」では、青葉山の麓というやわらかい土壌を活かしたごぼうや里芋づくりに取り組んでいること、「杜仲茶」では、町の健康づくりの取り組みの一環として栽培・加工していることなどを工場見学や生産者の方々からの聞き取りをおして学び、郷土の自然や産業について理解を深めることができた。また、「鯛鮓」では、木簡などの資料から青郷地区が「すし発祥の地」であることを知り、それをもとにしたまちづくりに取り組んでいることも知る事ができ、青郷地区の文化や歴史を再発見するきっかけとなった。



成果と課題

地域に出かけていたり、地域の方々から直接話を伺う体験活動をおして、地域の自然や人々、文化や産業にふれる機会を充実させることができ、自分たちの住んでいる青郷地区への理解と愛着を深めることができた。各学年の学習内容は充実しているので、今後は学年間の系統を考慮し、6年間をおしてふるさと学習が深まるように計画していきたい。

